

第7回 NFA（冬季）四十雀サッカー大会（大会概要）

■期日:2021/2/28

■場所:中台陸上競技場・中台球技場

◆天候:晴れ

■主催:成田市サッカー協会

■主管:同協会5種部会

■共催:成田市体育協会

■後援:ホテルウェルコ成田

■大会会長:宇野 雅人

■大会顧問:黄 環浩他



■チャレンジ、エンジョイ両部門W優勝した栄RFCの面々■



■エンジョイは驚異の粘りで逆転勝利

【大会概要と開催経緯】

2014年に4・5種の同時開催だった旧ロータリークラブ杯サッカー大会を、5種単独大会としてから7回目の大会。初期大会から数えると実に14年目、開催回数では13回目（H22年度中止）にあたり、秋のNFA四十雀（旧保険ニュース杯/旧成田ケーブルTV杯）大会と、この大会が5種の2大大会となっています。昨年まではスポンサー名をとって「HOTEL WELCO成田杯 四十雀サッカー大会」でしたが、今年は冠無しとなり「NFA冬季四十雀サッカー大会」としました。部門はチャレンジとエンジョイの2部門で競い合います。今年は新型コロナ対策で事前体温確認＋当日検温、消毒にプレー以外はマスク直用、さらに極力密を避けるため、開会式は省略としました。



■チャレンジ:優勝 栄RFC40

■準優勝 LAGAME佐倉

■第三位 NKアーセナル



◆エンジョイ:優勝 栄RFC50

■準優勝 酒々井ゴルフバード

■第三位 日吉台ロッソネロ



チャレンジの部 三里塚対栄RFC40



■女子力で攻める日吉台ピアンゴ



■日吉台ロッソネロの白井選手のボールキープ

第7回 NFA冬季 四十雀サッカー大会(チャレンジ部門結果)

【大会結果 チャレンジ部門】

◆予選組合せ・戦前予想◆優勝候補（栄RFC50と酒々井ナトゥレーザ）と昨年準優勝の三里塚がいるC組が今年の死のリーグ、D組はFCボレイロ成田と旭FCが有力とみる。E組はLEGAME佐倉が試合巧者のNK、ダークホースが日吉台と予想。全体としては栄のキープ力、酒々井は攻撃陣に決定力、LEGAME佐倉は穴が無い安定性。この3強に各チームがいかに戦うかになりそう。

◆予選リーグ◆死の組C組は、優勝候補の酒々井が栄戦での2失点が響き脱落、栄が首位通過、D組はFCボレイロ成田が唯一の2勝で勝ち進む。E組はLEGAME佐倉とNKが2勝で並びましたが佐倉が得失点で1位通過、決勝ラウンドへの4チーム目にはそのNKが駒を進めました。

◆決勝ラウンド◆準決勝のNK対栄RFC戦は、NKが栄RFCの勢いを止められず6-2の大差で敗退、FCボレイロ成田とLEGAME佐倉は相譲らずの展開でしたが、LEGAME佐倉がゴール前の混戦を制して僅差で決勝に進めます。決勝は、LEGAME佐倉の攻めを栄RFCがうける形で進む中、栄RFCが安藤選手が決めた貴重な1点を守り切り難敵を退け優勝を決めました。

■勝点と同じ場合:①得失点差、②総得点、③当該対戦の最大得点、④PK

【予選ブロック】

C組	栄RFC40	三里塚ブルーヴィ	酒々井ナトゥレーザ	勝点	得点	失点	得失点	順位
栄RFC40	○	○		6	3	0	3	1
三里塚ブルー	●	○	●	0	0	2	-2	3
酒々井ナトゥレー	●	○	○	3	1	2	-1	2

D組	FCボレイロ成田	七栄FC	成田SSS40	旭FC	勝点	得点	失点	得失点	順位
FCボレイロ成田	○	○	○		6	7	0	7	1
七栄FC	●	○	△	△	1	3	8	-5	4
成田SSS40	●	○	○	○	3	1	2	-1	2
旭FC	○	△	●	○	1	3	4	-1	3

E組	LEGAME佐倉40	日吉台ツソネ40	成田SSS KINGLAND FC	NKアーセナル	勝点	得点	失点	得失点	順位
LEGAME佐倉40	○	○	○		6	6	1	5	1
日吉台ツソネ40	●	○	○	●	0	2	4	-2	3
成田SSS KINGLAND FC	●	○	○	●	0	0	7	-7	4
NKアーセナル	○	○	○	○	6	5	0	5	2

【決勝トーナメント】



決勝弾を決めた安藤選手

決勝での先制弾や予選ラウンドでの活躍、文句なしの大会MVP



チャレンジ決勝は、双方相譲らずの好カードでしたが、栄RFC40が安藤選手の決めた1点を守り切り優勝！

第7回 NFA冬季 四十雀サッカー大会(エンジョイ部門結果)

【大会結果 エンジョイ部門】

◆エンジョイの部予想◆毎年上位のCPFCや、昨年大会優勝の公津FCが不参加となり、今年のエンジョイは6チーム。優勝候補は酒々井ゴルゴバード、そして荒井、田中の両中盤に得点力のある遠藤を擁する栄RFC、これに新メンバーを加えた日吉台ロッソネロと予想されました。

◆予選リーグ◆

A組予想は本命酒々井が危なげなく2勝で1位抜け、2位は日吉台ピアンゴが女子力での得点を死守しNKエミを退けました。B組は栄RFC50が日吉台ロッソネロ戦を僅差で勝ち越し2勝で1位抜け、新メンバーで上位を狙った日吉台ロッソネロとしては惜しい一戦でした。昨年大会で準優勝の三里塚アルテが元気がなく2敗で下位トーナメントにまわったのが意外でした。

◆決勝、順位決定トーナメント◆

決勝戦は予想通り、酒々井ゴルゴバードと栄RFC50の一戦になりました。得点力のあるアタッカー陣とキープ力のある中盤、そして安定した守備陣と、タイプは似ています。

先制したのは酒々井、前半終了時点では酒々井優勢にみえましたが、後半に栄RFCも新井が決めて同点、さらに試合終了間際にマークが厳しく、自由に球をもらえなかったレフティ遠藤が右足で決めた逆転弾が決勝弾となり栄RFCが優勝を決めました。

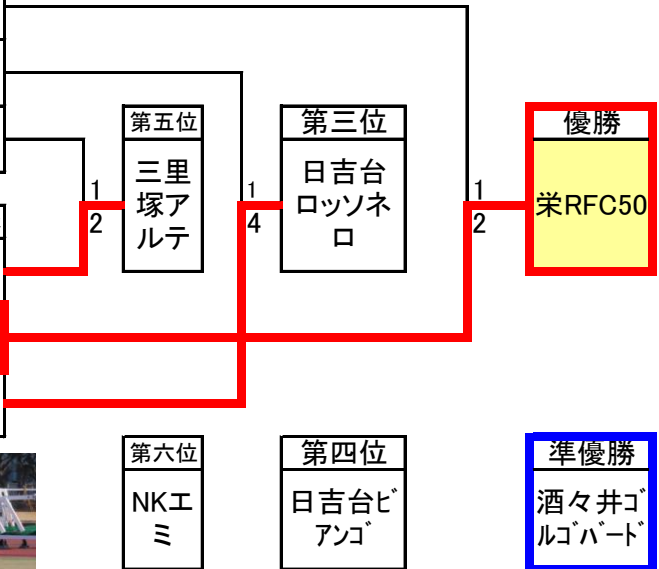
【予選ブロック】

【決勝トーナメント】

■勝点と同じ場合：①得失点差、②総得点、③当該対戦の最大得点、④PK

A組	酒々井ゴルゴバード	日吉台ピアンゴ	NKエミ	勝点	得点	失点	得失点	順位
酒々井ゴルゴ	●	○	○	6	7	0	7	1
日吉台ピアンゴ	○	●	○	3	2	5	-3	2
NKエミ	○	○	●	0	1	5	-4	3

B組	三里塚アルテ	栄RFC50	日吉台ロッソネロ	勝点	得点	失点	得失点	順位
三里塚アルテ	●	●	●	0	0	4	-4	3
栄RFC50	○	●	○	6	4	1	3	1
日吉台ロッソネロ	○	○	●	3	3	2	1	2



女子選手の活躍
NK戦での日吉台ピアンゴ菜摘選手



◆決勝戦で劇的逆転弾(遠藤選手・右写真)で栄RFC50が優勝

◆決勝で同点弾決めた栄の新井